

3 小学校・中学校・高等学校における学習

(1) 指導計画例の見方

B 書くこと〔小学校中学年〕

当該領域の目標

ゴシック体は、本単元で選択した内容

【目標】

相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。

【指導事項】

ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

指導事項を1～2項目選択する。場合によっては、指導事項の中を更に分割することもある。つまり、選択する際、指導事項にある全ての能力を扱う必要はなく、一部のみを扱うことも考えられる。その場合、年間の中で全ての指導事項を扱うよう留意する。

【言語活動例】

イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。

指導事項の指導に適した言語活動例を選択する。

身に付けさせたい力に即した児童生徒の言語能力の実態を明確にする。既習事項のうち、○身に付けてきた力と、◆課題が見られる力を記入する。

【「書くこと」における児童の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 時間的な順序、事柄の順序にしたがって文章を書く。
- 書こうとする事柄の中心を決め、文章の内容の焦点を絞って
- ◆ひとまとまりの内容ごとに段落を構成するとともに…。

①〈国語への関心・意欲・態度〉
②〈領域の指導事項〉③〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉の3点セットで設定。
〈関心・意欲・態度〉←【目標等】
〈指導事項〉←【領域の指導事項】
〈伝統的な…〉←【伝統的な…】

【身に付けさせたい力】

- ①相手や目的に応じ…〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②書こうとするものの…〈「書くこと」(ウ)〉
- ③句読点を適切に打…
〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(エ)〉

【言語活動例】疑問に思ったことを調べて、…表すこと。〈イ〉

【単元名】学級新聞を作ろう～中心を明確にして書く～

【教材名・教材の特長】「学級新聞を作ろう」（教育出版 4年上）

- ・新聞記事としての特徴を理解し、文章の構成や使う語句…。
- ・取り上げる記事の内容を選択したり見出しを工夫したり…。
- ・中心となる内容を明確にし、段落相互を関係付けながら書く上で

前半には言語活動を、後半の「～」以降には身に付けさせたい力を記している。

教材の持つ特長を【身に付けさせたい力】に照らし合わせて記載する。

【言語活動】

学校生活において関心を持った出来事を、学級新聞に表す。〈イ〉

単元目標と評価規準を設定する。ここには単元目標のみを示す。

身に付けさせたい力や教材に合わせて、言語活動例を具体化する。

【単元目標】

- ①関心を持った出来事…書こうとする。〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②書こうとする内容の中心を明確にし、…書く。〈「書くこと」イ〉
- ③句読点を適切に打ち、…書く。〈伝統的な言語文化と国語の特質〉
※【身に付けさせたい力】【単元目標】【Cと評価した児童生徒…】の①②③は連動している。
※単元目標の文末表現は、上記ゴシック体のように表記する。

身に付けさせたい力、教材の特長、言語活動を踏まえて、具体化する。

「資料等の利用を図る学習活動」、「読書活動の充実」及び「他教科との連携」は、「発展的な学習の内容」を指している。※p. 6(3)を参照

【授業の具体例】

資料等の利用を図る学習活動

時	評価規準	評価方法	学習活動
1	<p>第1時については、目標はあるが、評価を行わない場合もある。</p>	<p>全員の児童生徒の学習の様子を評価するための評価方法。</p>	<p>学校生活での様々な出来事を振り返り、家庭や地域に伝える新聞を書くことを理解する</p> <p>「記事の書き方」と効果を、モデル新聞から見出す</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入の工夫を図り、教材への興味・関心を持たせる。 身に付けさせたい力を理解させ、学習の目的や見通しを持たせる。 言語活動の見通しを持たせる。
2 3 4 5 6 7	<p>②書こうとする内容の中心を明確にし、事実が伝わるよう理由や事例を挙げながら書いている。</p> <p>〈「書く能力」ウ〉</p> <p>③句読点を適切に打ち、また、段落の始めについては行を改めて書いている。</p> <p>〈言語についての知識・理解・技能イ(エ)〉</p>	<p>ワークシート</p> <p>構想メモ</p>	<p>グループで新聞づくりの計画を立て、記事を書く見通しを持つ</p> <p>構成を考え、吟味する</p> <p>記事の下書きをする</p> <p>学習過程において、言語活動を通して目標に設定した言語能力を育むことができるよう、意図的な展開を組む。</p>
8 9 10 11	<p>①関心を持った出来事が伝わるように、構成等を工夫をしながら新聞記事を書こうとしている。</p> <p>〈国語への関心・意欲・態度〉</p> <p>どの時間にどの目標項目を指導し、評価をするか、見通しを持った評価計画を立てる。</p>	<p>原稿</p> <p>評価カード</p>	<p>下書きを推敲する</p> <p>新聞を仕上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えたことを、表現・表出する活動を設定する。 考えたことを交流する場や機会を設定する。 <p>視点に沿って説明し合い、作品を評価し合う</p> <p>自らの言語活動を振り返り、以後の学習等につなげる。</p>

【Cと評価した児童への手立ての例（上記の評価規準の順）】

- ②伝えたい内容に合わせて収集した情報等を…〈ウ〉
- ③主語や並列する語の後に読点を打つなど…〈イ(エ)〉
- ①家族が知りたいこと、…〈国語への関心・意欲・態度〉

【授業の具体例】の評価規準の順に、「手立ての例」を示している。

【評価規準】に照らし合わせ、Cと評価した児童生徒への手立てを記す。「学習内容の系統」を参考にし、つまづいている箇所を確認し、手立てを講じる。